

日本聖公会東北教区婦人会

役員会だより

指導聖句

希望の源である神が、信仰によって得られる あらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、 聖霊の力によって、あなたがたを希望に満ち溢 れさせてくださいますように。

ローマの信徒への手紙 15:13

特集 特別寄稿「自然災害といのち」(P. 7~8) 寄稿者 島田 明夫

(仙台基督教会信徒)

- P. 1 「 神 様 へ の 信 頼 と 希 望 を 大 切 に し な が ら 」 主教 吉田雅人
- P. 2 「教区婦人会チャプレンのあいさつにかえて」 チャプレン 司祭 八木 正言
- P. 3 「私たちの内なる人は日々、新たに」 会長 梅津

庸子

- P. 4 2021 年度各教会婦人会役員名、活動計画、個人会員名
- P. 5 会員の声、敬老基金運営委員会よりご挨拶

吉田憲子

P. 6 会計からお知らせとお願い

神様への信頼と希望を大切にしながら

主教 ヨハネ 吉田 雅人

希望の源である神が、信仰によって得られるあらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし、聖霊の力によって、あなたがたを希望に満ち溢れさせてくださいますように。 (ロマ15:13)

主にある平安をお祈りいたします。

昨年(2020年)の1月末に新型コロナウイルス感染症が「指定感染症」に指定されて以来、日本国内では約52万人の方が罹患され、現在でも約38,000人もの方々が療養を続けておられます。宮城県と山形県では3月中旬から県独自の緊急事態宣言を出された関係で、仙台市内の2教会2伝道所と、仙台市内在住の聖職が礼拝奉仕をしている近隣の諸教会、山形聖ペテロ教会・鶴岡聖公会・若松諸聖徒教会・磯山聖ヨハネ教会では、2年続けてイースター礼拝を皆で集まってお献げすることができませんでした。

このような状況が続きますと、どうも気が滅入ってしまって、元気が出てきません。その理由は、自分たちの努力だけではどうにもできない状況に、私たちが置かれているからでしょう。しかしよく考えてみますと、私たちは自分にとって都合の良い状況にいつもいたのかと言いますと、必ずしもそうではありません。私の知人が「10 年間で1つでもいいことがあれば感謝だよね」と言っていましたが、それは私たちの経験の中で真実だと思います。

なぜ聖パウロは表題の聖句のように祈ることができたのでしょうか。その背景には、次の有名な聖句に言い表される確信が、パウロの信仰生活の経験としてあったからだと思います。その聖句とは、

「苦難が忍耐を生み、忍耐が品格(練達)を、品格(練達)が希望を生むことを知っているからです。この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです。 (ロマ5:3c-5)」

です。ここでいう「苦難」とは「圧迫」という意味です。人生には私たちを苦しめ、悩ませ、圧迫するものが満ちています。従って私たちにとっては、苦難を避けること、苦難から逃げ出すことではなく、苦難と共にあり、苦難を越えていくしかありません。それを可能にするのが「希望」であり、「希望が失望に終わることはない」と言うのです。その理由は「神の愛が私たちの心に注がれている」からです。神様は私たち一人一人を大切にしてくださっているという神様への信頼こそが、私たちにあらゆる苦難に向かっている勇気を与えてくれるのではないでしょうか。

今、世界も、日本聖公会も、東北教区内の各教会も、そして教区婦人会も、様々な問題の中を歩もうとしています。その時、私たちは「神の愛が注がれている」という神様への信頼と希望を大切にしながら、私たちの小さな歩みを進めていき(行き・生き)たいと思います。



教区婦人会チャプレンのご挨拶にかえて。

司祭 ヨハネ 八 木 正 言

安息日には労働してはならないという「安息日規定」の端緒は、神から授けられた掟にありました。それは「六日の間働いて…七日目は、あなたの神、主の安息日であるから、いかなる仕事もしてはならない」(出エジプト記 20:8 以下)とある十戒であり、

イエスの時代の人々はこの戒律を厳格に守ることが神に近づく手立てだと教えられていました。しかし空腹であった弟子たちはこの安息日に麦の穂を摘む、すなわち収穫という仕事をしてしまったのです。十戒とそこから派生した律法遵守を教え、それを旨として生きていたファリサイ派の人々がこれを看過すはずがありません。即座に弟子たちの師であるイエスを糾弾します。イエスはこれに「安息日は、人のために定められた。人が安息日のためにあるのではない」と応え、結果として「安息日規定」を犯した弟子たちを擁護したのです。

ところが、最近どうもその先が気になりだしました。この出来事の当事者であった弟子たちは、イエスの言葉をどう受けとめたのだろうかと。

ファリサイ派の指摘を受けて弟子たちは、自分たちの行為が当時の「常識」を覆す行動であったゆえ、返す言葉もなかったであろうと想像します。ところが師は、そんな自分たちの絶体絶命のピンチを見事に救ってくれたのです!

しかし問題はそこからです。彼らは救われて安心したのみならず、自分たちの行為を正 当化してしまったのではないだろうか、そんな想像をします。つまり「これからは安息日 でも、空腹になれば麦の穂を摘んでもいいんだ」という新しいルールとして、この出来事 を受けとめてしまったのではないだろうかと。

イエスの言葉は、安息日に収穫という仕事が許されるか否かという問いへの回答ではありません。それは杓子定規に人の生き方を固定化することからの解放を促す言葉だったのです。にもかかわらず弟子たちが、自分たちの行為にお墨付きをもらえたとしか受けとめていなかったならば、それはイエスの言葉の真意に逆行するものであり、差し詰め「安息日規定」の細則として「但し空腹のときであれば収穫してもよい」という新たな「規則と戒律ずくめの律法」を付加したことにしかなりません。

イエスは、決まり事やルールを破ることを推奨したのではありませんし、当時の律法に 代わる掟を定めようとされたのでもありません。決まり事やルールは、社会や共同体にあって人と人とが共生するための知恵として設けられるもので、人とその命を健全に保つためのものであるという「心」を忘れてはならないということを言われたのではないでしょうか。

このエピソードから 2000 年、時代も地域も違いますが、今の日本社会、さらには私たちの関わる共同体ではどうでしょうか。問題に直面する度、イタチごっこよろしく新しい細目規定を作ることに躍起になってはいないでしょうか。もしもイエスがこの時代、私たちの社会に来られたら、やはり「安息日は、人のために定められた。人が安息日のためにあるのではない」と語られるのではないだろうか、自戒を込めてそう思います。 キリストの教会の、婦人会を含めたさまざまな働きの原点を、人とその命を健全に保つための

「心」を忘れないところに置きつつ、教区婦人会チャプレンとしての働きを全うしたいと 願っています。

どうぞよろしくお願いいたします。



「私たちの内なる人は日々、新たに」



会 長 梅津庸子

2年前に開催した婦人会主催の集まりの写真を眺めながら、何か随分昔のことのように感じます。いつかは沈静化するものと思っていましたが、2年目に入った新型コロナウイルス感染の拡大は、昨年より厳しい状況になっております。

昨年の日聖婦総会は史上初でリモートによる開催となり、教区婦人会総会も書面による 決議でした。関係者の方々の労苦が偲ばれます。

そのような中、盛岡から高速を走らせて来て下さった盛岡聖公会の旧役員の方々と、顔を合わせて、仙台基督教会で引継ぎを行うことが出来ましたことは感謝でした。

東北教区婦人会は現在8つの教会婦人会と、5名の個人会員からなり、会員総数は89名です。会員の高齢化と会員減少が進む中で、教区役員会を引き受けることが大きな負担になり、婦人会を止めるところが相次ぎました。かなり前から事務の簡略化や事務局の設置を要望する声がありましたが、具体化することなく今に至りました。

役員会を引き受けて数ヶ月が経ちましたが、教区婦人会役員は初めてですので要領を得ず、大変な面も確かにあります。一方で、新たな発見もありました。提出された書類に添えられた言葉や、お電話を通して、教会での会員それぞれの働きが垣間見えたことです。ご高齢になった会員を気付かうことや、教会での奉仕への思いが伺えて、こちらまで幸いな思いになったことです。私達はどうしても自分と自分の周囲のことだけに目を向けがちですが、他者に思いを寄せる時、自分の問題が小さく見えてきたり、いつの間にか不安が消えていることがあります。離れていても、会員同士が互いに関わり繋がっているという基本的なことを、これからも大切にしていきたいと思います。

「~私たちの外なる人が朽ちるとしても、

私たちの内なる人は日々新たにされていきます。~ |(||コリント4:16)

という聖書の言葉があります。歳を重ねていく幸いがあると思います。確かに肉体は衰えていまますが、イエス様とのかかわりを深め、神の愛に生かされる幸いを味わいながら、新たに気付かされることへの感謝と祈りで豊かにされることです。規模が小さくなった婦人会ですが、

今の状況を受け止めながら、皆さんと充実した関りが持てるように、共に歩んで参りたい と思います。

今、聖公会全体で新たな宣教体制が模索されています。これからは県ごとのブロックではなく、東北教区が一つのブロックと考える意識も必要かもしれません。岩手と宮城を往復している教区婦人会役員会を一本化できないかとも思っています。

2021年度各婦人会役員名、個人会員名と活動計画・奉仕内容

東北教区婦人会会員89名

	果儿叙区婦人云云貝89名
教会名、(会員数)、役員名	活動計画、奉仕内容
盛岡聖公会(22名)	主日礼拝奉仕、旧約聖書朗読、アッシャー、オルターギルド
会長:神原静子	礼拝堂清掃(毎月第2,5主日)
副会長:村上順子	イースター 礼拝奉仕、祝会の準備、片付け等
書 記:佐藤和香子	クリスマス(12月24日)礼拝奉仕、祝会の準備、片付
会 計:平賀てる子、坂水かよ	け等
釜石神愛教会 (3名)	教区婦人会への会費納入、献金への協力
会長:高橋仁美	
大館聖パウロ教会(10名)	ほとんどの活動は中止
会長:藤原久子	毎月の例会
副会長:武田紘子	教会奉仕・オルターギルド、聖堂及び牧師館の清掃と管理
書記:小田切光子	カナンの園(シュトーレン)、石巻(海産物)等の購入協力
会 計:戸枝 忍	
山形聖ペテロ教会(6名)	世界祈祷日準備会及び参加、イースター準備
代表:加川幸子	ペテロ祭110周年記念準備、10・11月敬老の集い
	墓地礼拝、クリスマスの準備・参加、諸行事準備参加
	聖堂清掃、オルタ―ギルド、オルタ―ギルド勉強会
	日課朗読、献花、里親の会、市民クリスマス参加と協力
	病者、老人ホーム訪問、高齢者で礼拝に参加できない方へ
	の働きかけ及びケアー、教会行事・週報等の郵送
	お知らせ、ペテロ館・教会周辺・花壇の整理と維持
新庄聖マルコ教会(4名)	オルターギルド、オルガニスト、聖堂の清掃
会 長:今井弘子	聖書勉強会、礼拝後の昼食準備
会 計:戸塚敏子	
米沢聖ヨハネ教会(4名)	聖餐式の準備、クリスマス・イースターの準備
会 長:小貫尚子	コロナ渦のため集会は出来ませんが、カード、電話等で
副会長:高橋洋子	問安。教会内外の清掃(信徒全員で行っています)
仙台聖フランシス教会(5名)	礼拝後の食事準備、バザー開催(ミニバザー、幼稚園との
代表:大槻静子	共催バザー)。「むつみ会」の開催(地域の一人暮らしの方
	との交流、食事会)
仙台基督教会(30名)	例会、被献日礼拝、大斎リトリート、聖マリヤへのみ告げ
会長:木村優木子	の日礼拝、敬老祝会、子ども祝福式のプレゼント準備
副会長:西正子	愛の宅急便(神学生へのプレゼント)
書記:加藤晶子、西正子	イースター、クリスマスカードの送付
会計:小松原栄子、島田曉子	コロナが収束したら行事を再開する。
事業会計:太田紀子、大川喜子	
個人会員 (5名)	

個人会員 (5名)

関 洋美(小名浜聖テモテ教会)

渡辺志津子・三宅裕子(郡山聖ペテロ聖パウロ教会)

赤谷契子(若松諸聖徒教会) 鹿又澄子(福島聖ステパノ教会)

会員からの声

大館聖パウロ教会

コロナ禍の中、少しでもイースターの喜びをと…、礼拝後サプライズでお楽しみ袋のくじ引きがありました。パッーと笑顔が広がり、他者のための思いやりのアイデアに感動のすばらしい一日でした。

祈りと繋がりを大切にしてきた教区婦人会の働きを思うとき、特に会を止められたお仲間の皆さんのことに心を停めたいと思います。

米沢聖ヨハネ教会

4月から渡部拓司祭様を管理牧師に迎え、少ない人数ながら、小さな交わりの中で、 主のご復活をお祝いできました。今まで婦人会員だった方がご高齢のため、現役から 抜けてしまい残念です。お祈りするのみです。

各教会婦人会の祈りの課題を分かち合い、祈り合うことが出来たらと思っています。

盛岡聖公会

コロナ渦で先が見えず、静かに時を待っております。例会、役員会、研修会等々、未 定であったり、調整中であったりです。大変な最中、よろしくお願い致します。

仙台基督教会

ナザレ修女会の順霊母さまからお便りをいただきましたので、お許しを得て公開させていただきます。 (世話人 中村みどり)

「大変遅くなりましたが、主のご復活のお祝いを申し上げます。

会友の皆様は各自の場で例年にない型でご復活のお恵みにおあずかられましたことと存じます。

コロナ渦の為、会友会のお世話いただいております皆様の五月の修道院での集いは出来ません。 地区的にお集まりの報告を頂きますことは本当にうれしく感謝しております。

修女のあさ子修女は榛名新生園で、霊母・美代志修女は多くの方々のお祈りと共にあらゆる面での お支えによりまして、修道院の働き、聖務時祷を礼拝堂でお捧げ出来る感謝の日々を過ごしております。

最後になりましたが、皆様お一人お一人の上に豊かな御祝福と御健康を祈り、現在の恐怖と不安 状態から、共に集い感謝の礼拝の出来る日の早く来ますことを祈願して参りましょう。」

敬老基金運営委員会

主の平安をお祈りいたします。

いつも敬老基金運営委員会にご協力いただきましてありがとうございます。

当委員会は教区婦人会の働きの一つとして、 88歳と100歳を迎えた方々へのお祝いや、80歳以上のご病気の方々にお見舞いを、男女問わず差し上げ、また敬老の集いへの援助もしております。

当委員会の委員をご紹介します。

東北教区婦人会 敬老基金運営委員会 委員長 吉田憲子



大槻 静子(仙台聖フランシス教会) 大浪 直子(仙台聖フランシス教会)

中村みどり(仙台基督教会)

西 正子(仙台基督教会)

吉田 憲子(仙台基督教会)

(顧問) 八木正言司祭

会計関係のお知らせとお願い

◎会費・献金の送金先

ゆうちょ銀行 振り替え口座番号 02230-0-3937 ゆうちょ銀行 振り替え口座名義 日本聖公会東北教区婦人会

○会費(分担金)

会費 1名につき 2,500円

(第47回東北教区婦人会総会<書面決議>により、 2021年度から総会費積立金を止め、会費のみとなりました)

- ○被献日献金
- ○感謝箱献金(春、秋)
- ○ナルド献金(聖マリヤへのみ告げの日献金と事業献金)

以上4件を纏めて11月末日までに必着でお送りくださるようお願いいたします。

(なお、郵便振替振込書をもって領収書に代えさせていただきます)

敬老献金について

◎敬老献金の送金先

ゆうちょ銀行振替口座番号02270-7-7628ゆうちょ銀行振替口座名義日本聖公会東北教区婦人会敬老基金運営委員会

敬老基金運営委員会から9月頃に文書でお願いいたしますので、 それに従って**10月末日までに**お送り下さるようお願いいたします。

特集 特別寄稿「自然災害といのち」 寄稿者:パトリック 島田 明夫 この特集は第3回まで続きます。 (仙台基督教会信徒)

第1回「自然災害に脆弱な日本列島、災害と防災」

東日本大震災から10年が経 ちました。今も行方不明者が二 千人以上、また原発事故を伴っ たことから、避難者は4万人以 上いると言われております。大 震災以後も毎年のように、各地 で大きな災害が起き、尊い命が 失われています。 島田明夫氏略歴

1980 年:東京大学経済学部卒業・(旧) 建設省入省 1999~2001 年:国土庁防災局→内閣府 防災企画官

2006年:国土交通省在職中に東京大学博士(工学)学位取得

2007~2009年:東京大学法学政治学研究科 客員教授

2008~2010年:政策研究大学院大学まちづくりプロジェクト教授 2010年~現在に至る:東北大学法学研究科公共政策大学院 教授 2012年~現在に至る:東北大学災害科学国際研究所 教授を兼務 2020年~現在に至る:東北大学変動地球共生学卓越大学院 *〃*

これまで多くの災害現場に立ち会い、東日本大震災以降、特に地域防災力の向上を提言している島田明夫さんに寄稿して頂きました。

特別寄稿「自然災害といのち」(1)

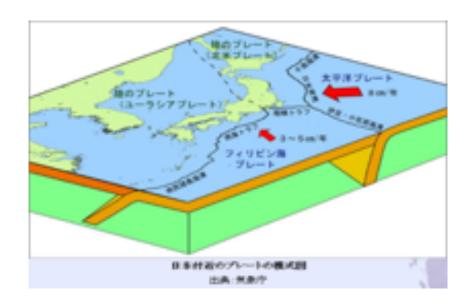
1. 自然災害に脆弱な日本列島

我が国は、その位置、地形、地質、気象などの自然的条件から、台風、豪雨、豪雪、洪水、土砂災害、地震、津波、火山噴火等による災害が発生しやすい国土となっています。

(1) 地震と火山

特に、地震については、世界全体に占める日本の災害発生割合は、マグニチュード6以上の地震回数20.8%、死者数0.4%、災害被害額18.3%など、非常に高くなっています。

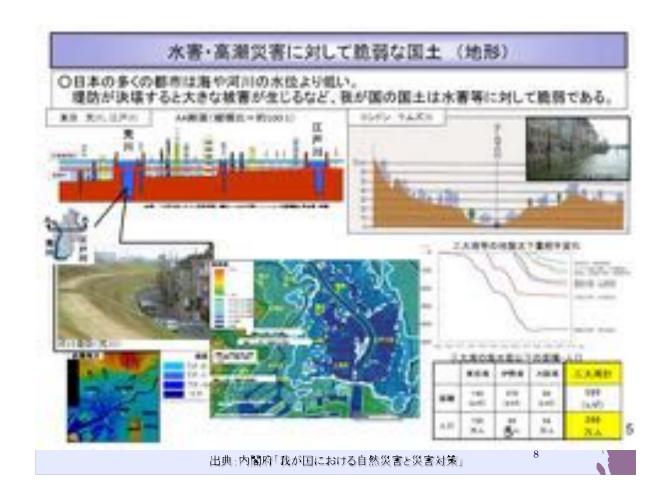
また、世界のわずか 0.25%の国土面積である日本には、全世界の活火山数の 7%に当たる 110 の活火山が分布しております。日本は、4 つのプレート(ユーラシア・北米・太平洋・フィリピン海)の境界に位置しているため、プレートの沈み込みによって発生するプレート境界型の巨大地震、プレートの運動に起因する内陸域の活断層による地震(熊本地震等)などが発生しているのです。また、四方を海に囲まれ、海岸線は長く複雑なため、地震の際の津波による大きな被害も発生しやすいことになります(東日本大震災等)。



(2) 水害と高潮災害

日本は、おおむね温帯に位置し、春夏秋冬のいわゆる四季が明瞭に現れます。そして、四季の様々な気象現象として現れる台風、大雨、大雪などは、時には甚大な被害をもたらすことがあります。

日本は、急峻な地形なので、河川は急勾配であり、ひとたび大雨に見舞われると急激に河川流量が増加し、洪水などによる災害が起こりやすくなっています(令和2年7月豪雨等)。都市は、水の便のいい、河口の平野部や山あいの盆地に立地していて、台風や豪雨、豪雪に見舞われやすいという気象条件が加わり、土石流、地すべり、がけ崩れ等の土砂災害等の被害を受けやすい状況にあります。近年、地球温暖化に伴って、日本が亜熱帯化しつつあるといわれておりますので、台風に伴う高潮被害にも注意が必要です。



2. 災害と防災

(1) 防災と減災

「防災」とは災害そのものが発生しないように努める取り組みや行動を指します。海や河川の堤防・防潮堤はその典型例です。それに対して、「減災」は、災害が発生することが前提で行う取り組みや行動のことをいいます。

(2) 自助・共助・公助

災害発生時、減災の上で特に必要なのが人と人との「助け合い」です。助け合いには3つあり、自分自身で自分の身を守る「自助」、家族や地域の人など身近な人同士で助け合う「共助」、行政や自治体がサポートを行う「公助」です。災害は規模が大きくなるほど、「公助」の届く範囲は狭くなります。特に大規模災害に際して、減災のうえで重要となるのが「自助」と「共助」です。阪神淡路大震災で、がれきの中から救助された方の多くは、共助によって隣近所の人に助けられたのです。

「あなたの隣人をあなた自身のように愛しなさい」

パトリック 島田 明夫

お知らせ

骨去る3月31日、吉田雅人主教様の実弟アンデレ 吉田直人様がご逝去されました。教区婦人会より供花をしました。弟様の魂の平安と、ご遺族の上に主の慰めがありますようにお祈り致します。

骨4月23日、大館聖パウロ教会の聖職候補生オーガスチン 戸枝正樹兄がご逝去されました。 兄のみ魂の安らかなることと、ご遺族の上に主の慰めがありますようにお祈り致します。

☆日聖婦から、今年3月11日東日本大震災10年目を迎えるにあたり、お見舞いのカードが届きました。

- ★日本聖公会婦人会 第26回(定期)総会後 第2回会長会のご案内 が届きました。 6/15~16 大阪聖ヨハネ教会で行われる予定です。6月開催まで感染状況を見つつ、今のところは開催の予定ということです。
- ★書類提出のお願い 日聖婦総会でお祈りする「逝去者名·代祷項目」は、5/3迄にご返送下さい。(用紙はすでに送付してあります。)
- ☆**個人会員を募集しています** 婦人会がない教会で個人会員を望まれる方は、下記連絡先 までお知らせください。また、お仲間をご紹介ください。
- ☆教区婦人会に届いた印刷物・・・『望ニュース』2月号、3月号(釜石支援センター望) 聖公会神学院入学案内、北関東教区婦人会総会決議録、他

東北教区婦人会役員名【2021, $1/1 \sim 2022$, 12/31】

会長 梅津 庸子

副会長 大槻 静子

書記
太田 紀子

西正子

会 計 小松原栄子

中村みどり

チャプレン 司祭 八木 正言

連絡先

*梅津庸子

*中村みどり(会計)

東北教区婦人会

980-0803 仙台市青葉区国分町 2-13-15 (仙台基督教会内) **&** 022-225-2818

~編集後記~

新型コロナウイルス感染症の猛威に翻弄される日々が続いております。 季節の移り変わりに心を寄せながら、もう少し我慢の時が必要な様子です。 これから2年間、役員会を担うことになりました。皆様のご協力をよろし くお願い致します

